

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	65
基本施策	18	住環境の整備	評価責任者	建設水道課長 佐竹 邦夫
単位施策	3	公園・緑地の充実		

1 施策の概要

基本方針	わが町の公園・緑地の魅力を保てるよう、住民と協働しながら、芝や樹木の手入れ、遊具等の補修など、適切な管理運営を進めます。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	公園・緑地は、健康づくりや憩いの場として、また、住民や来訪者の交流の場として、さらには、災害時の避難場所として、重要な機能を担っている。	公園・緑地は、健康づくりや憩いの場として、また、住民や来訪者の交流の場として、更には、災害時の避難場所として重要な機能を担っている。また、公園施設等の維持管理についても適正に行っている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	公園・緑地の利用者が、憩いの場として安全・安心に利用できるために、公園施設の将来の改築に係るコスト低減を図るため、長寿命化計画を策定し、これに基づく維持・管理が求められている。	公園・緑地の利用者が、憩いの場として安全・安心に利用できるために、既存施設の改修や公園施設の将来の改築に係るコスト削減を図るため、長寿命化計画に基づき老朽施設等の更新を含め維持・管理を実施する必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名	公園数						
	定義等	雄武町内にある公園						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	15ヶ所（H18）	14ヶ所	14ヶ所	14ヶ所	14ヶ所		15ヶ所
指標2	指標名	公園の満足度						
	定義等	アンケート調査						
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値	49%（H18）	未実施	未実施	未実施	52.40%		70%
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①	公園維持管理事業	都市計画係	5,523	A	継続/現状維持	A
②	公園等施設遊具修繕事業	都市計画係	557	A	継続/現状維持	A
③	都市公園整備事業	都市計画係	3,098	A	継続/現状維持	A
④	みんなの路改修事業	都市計画係	13,230	A	終了	A
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	不特定多数の公園等利用者が、安心して快適に利用するための施策は、行政の使命である。
② 有効性	A	利用者の快適な利用環境が図られ、施策として成果が得られている。
③ 効率性	A	維持・管理を実施する上で、他所管施設との一括発注などで経費が削減できたことは、財政負担の縮減が図られている。
④ 公平性	A	公園等利用者に対し安全快適性を確保することについては、理解が得られるものと判断する。
⑤ 町民意見の反映	A	町民からの修繕等の要望は、維持管理等で反映している。また、まちづくりアンケートにより公園の満足度について調査を行った。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
特養施設の増設により、1箇所公園が少なくなったが、公園の利用者の憩いの場として安全で快適に利用してもらうため、また、豊かな緑地が存在する公園を保全するための措置を講じている。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続/現状維持	継続/現状維持	
都市公園の長寿命化計画に基づく管理運営や公園の利用者が安全で楽しく快適に利用してもらうためにも、施策の継続と現状維持が必要である。	同左	
*今後の方向性の区分 ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止		